

会議名	第1回（令和元年度 第1回） 七尾市健康福祉審議会保健医療分科会
日時	令和元年度 7月11日（木） 13：30～15：00
会場	パトリア3階 会議室4
参加者	委員13名：奥村委員(会長)、板谷委員、岡村委員、北村委員、國下委員、小浦委員、先川委員、沢野委員、高田委員、竹本委員、徳田委員、深見委員、干場委員 (欠席)一谷委員 健康推進課：一瀬課長、高瀬補佐、松本補佐、前田主幹、南専門員、藤沢専門員、山崎専門員、鍛冶主査、泉主任 福祉課：亀山補佐、和田主事 保険課：瀧本補佐
進行・記録	進行：一瀬課長 記録：鍛冶
内容	<p>1.開会</p> <p>一瀬課長： それでは第1回七尾市健康福祉審議会保健医療分科会を開会致します。司会を務めます一瀬といいます。この4月から健康推進課長になりました。よろしくお願ひ致します。それでは議件に入る前に会議の成立の報告を致します。会議資料1ページ議員名簿をご覧ください。2番の一谷委員から欠席の連絡をいただいております。本日の保健医療分科会は委員14名中13名が出席しておりますので、「委員の過半数」を充たし会議が成立することを報告致します。</p> <p>次に、4月の人事等によりまして今回4名の委員の方が変更になりました。大変恐縮ではございますが、新しく委員になられた方は簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。名簿順で國下委員からお願いします。</p> <p>～委員自己紹介～</p> <p>ありがとうございました。次に、事務局の自己紹介をさせていただきます。事務局の名簿は、会議資料の最後の20ページとなっております。また本日は、名簿の記載はありませんが、関係課の職員も出席させていただきます。</p> <p>～職員自己紹介～</p> <p>それでは開会にあたりまして奥村会長よりご挨拶をお願い致します。</p> <p>奥村会長： お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。七尾市の健康増進計画の評価を見ておりますと、肥満や高血圧・糖尿病の方も多く、まだまだ課題が多いと思います。根本的な解決策としては若い世代への健康教育・生活習慣等を確認して、節制できるところは節制することが必要かと思ひます。若い世代の健康に対する意識づくり・切れ目のない健康推進は健康福祉部だけでは限界があり、学校保健などと協働して推し進めていかなければならない。七尾市としては新たなチャレンジであり、皆さんから貴重なご意見をいただきたいと思います。</p>

よろしくお願ひ致します。

一瀬課長： これからの会議の進行につきましては、七尾市健康福祉審議会保健医療分科会要綱第6条「会長が議長となる」に基づき、奥村会長、議事進行をお願ひ致します。

議件

奥村会長： 議件「副会長の選任」について、委員の交代により副会長が不在となりました。これは分科会要綱によりまして私が指名させていただくこととなります。七尾市歯科医師会副会長の先川先生にお願ひしたいと思ひます。

～一同拍手、先川委員が副会長席へ移動～

説明・報告事項

(1) 七尾市健康福祉審議会保健医療分科会について

(2) 七尾市健康増進計画の推進について ライフステージごとの概要について

奥村会長： 事務局より説明をお願ひします。

山崎専門員： ～説明（資料P 3～6）

奥村会長： ただいまのご説明に何かご質問はありますか。

～質問なし～

ないようでしたら次に移りたいと思ひます。

(3) 七尾市健康増進計画【第2次】の進捗に関する事項について

奥村会長： 事務局より説明をお願ひします。

高瀬補佐： ～説明（資料P 7～9、事前質問事項票P 1）～

奥村会長： ただいまのご説明に何かご質問はありますか。

干場委員： H28の県民栄養調査というのは病院で受けた検診も入っているのですか？

高瀬補佐： この調査は現在の5つの県域に分けて600世帯を調査したもので、3,259人の回答がありました。能登中部はその1/5であり対象が限られています。その中で病院で受診した人も含まれていると思ひます。

北村委員： 介護保険サービス利用者の増加の抑制について、サービスを使いたくても使えないとか？減ってきた理由はわかりますでしょうか？

高瀬補佐： サービスを使っていない方もいるとは思ひますが、要介護認定を受けている方の割合になりますので、目標の報告はサービス利用の抑制になのですが、実際のデータは介護保険の認定者の割合を見ておりますので実際のところ割合は減ってきているのではないかと。要因はもう少し分析させていただきたいです。

北村委員： もうひとつよろしいでしょうか。P8糖尿病性腎症年間新規透析導入者数の減少、これは評価としてはAになっています。平成30年度は今年の9月となっていますが、糖尿病の専門医から医師会の方にお叱りを受けたんですけれども。かかりつけ医と専門医との連絡がうまくいっていないのではないかと、もう少し減らせるのではないかと言われたのですが、評価としては良くなっていると市として考えているのでしょうか。

高瀬補佐： 目標値が10人以下ということで、とりあえずH29までの計画の中では改善傾向と考えています。減少していく目標になりますので、ここから先の計画では見直していくことになります。

奥村会長： 新規透析導入者がH28が極端に少ないのは、おそらく透析寸前の方が専門医の努力で透析導入が遅れたので少ないのではないかと思います。なかなか効果を見るのは難しい。

がん検診の受診率は全国的な傾向？七尾市と同じ規模の自治体と比べてどうですか？

高瀬補佐： 胃がん検診だけで見ましても全国的に低下しています。全県でH27から13.8%→13.2%→13.1%と低下している状況です。

奥村会長： おそらく人間ドックが増えているので、それをまとめられるようなシステムを作らないと。

一瀬課長： このデータは国民健康保険で、一般の保険者、七尾市でもスギヨさんとか加賀屋さん、七尾市役所もそうですけど独自に検診を行っています。私たちががん検診の全体の状況が掴めていけませんので、将来的なことを考え国・県を通じまして要望していきたいと思っています。

奥村会長： おそらく国と県は動かないよね。七尾市としてそういうシステムを作るのは大変ですけど、作れば他のところも真似してくれるのではないかと思います。

一瀬課長： マイナンバーが保険証と一緒に話もありますし、各保険者がデータを持ってこないか難しいのかなと思いますが、国・県を通じてこの話を検討していきたいと思っています。

奥村会長： よろしくお願ひします。では次にいきたいと思っています。

(4) 令和元年度 主な取り組みについて

ア 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底について

奥村会長： 事務局より説明をお願いします。

松本補佐：～説明（資料P10～12）

奥村会長： 各地区健康まちづくり推進員による受診勧奨は、市としてだいぶ期待はされてる？

國下委員：先だって御祓地区で受診勧奨を行いました。中には誰もいないという家もありましたが。資料は入れてきたんですけど。本当は全部行ってできれば会話もできればいいんですが。御祓地区以外でもその取り組みを行っています。

奥村会長：行政の職員より顔を知っている同じ町内の推進員の方が勧めていただいた方が、行こうかなという気になるのかなと思っているのですが、ぜひよろしくお願い致します。
次に進みます。

イ 一人ひとりの健康づくりの実践について

ウ 生涯を通じた健康づくりの推進について

奥村会長：事務局より説明をお願いします。

高瀬補佐：～説明（資料P13～15、事前質問事項票P2）～

干場委員：支援プランが今後は70件／年になるということですが、今後は増えるのではないかなと思っています。と言いますのは、どうしても核家族が増えますし、出産後の子どもの状態等を考えましてもますます増えるのではないかと、そういう時にスタッフがうまく支援できるのかという点から質問させていただきました。

徳田委員：こころの健康に関する教育の充実について、身体健康づくりも大事なんですけど、それに負けず劣らず大事なのは心の健康だと思っています。小さいうちは小さいうちの環境がありまして、大人になれば大人の環境が出来上がっていく、就職するといっぺんに環境が変わってしまいこころの健康を害してしまう、そういうことを思っています。そこでこころの相談窓口は事業所任せなんですか？行政にもそういう窓口はあるのでしょうか？

高瀬補佐：相談窓口は行政にございますし、子どもの他にも労働者の窓口、女性の窓口もございます。窓口一覧というものもございます。

一瀬課長：こころの体の健康・青少年・経済問題等、相談窓口を設けています。このように窓口一覧を7,000部ほど作りまして、小中学校・保育園・関係機関にお配りしています。保護者にも一枚ずつお配りしています。

徳田委員：窓口がうまく機能していけば自殺の防止にもなるかと思えます。

一瀬課長：大きい事業所になりますと衛生委員会とかで産業医がついていますし、市役所でも相談員の方に来ていただいています。

徳田委員：窓口だけあって機能していない、ただの格好だけにならないようにお願いします。

高瀬補佐：昨年度自殺対策の計画を作成しまして、関係機関と連絡会をこれか

ら開く予定になっております。

板谷委員： P13の今年度の生活習慣病予防教育は全中学校（4校）で行うとありますが、P14の思春期保健事業でも4校になっていて、そのうちの1回だけ生活習慣病予防教室を1回行ったとありますが？

高瀬補佐： P13とP14は別の事業です。別の日に入っています。

板谷委員： 昨年度は1回で、今年は全校に入っていこうということですか？

高瀬補佐： 昨年度は思春期の講座に生活習慣病予防の内容を含めてさせていただいたものです。

小浦委員： 今年は別々で行いますか？2コマですか？

高瀬補佐： 学校側と相談して、依頼によって受けたりこちらから依頼したり、様々である。

高田委員： これは初めて知ったのですが、思春期は前から、生活習慣は今年からということ？

高瀬補佐： そうです。

高田委員： 講座がいろんなところから来て、現場としては負担がでかいんです。ひとつひとつ見ていくと確かに大事なことです。生活習慣病が増えている中で若いうちからしましょう、こころの健康についても自殺を未然に防止するために、思春期についても妊婦さんを疑似体験したり赤ちゃんの重さを抱っこしてみたりとか、大切なものやと思うんですけど、その他に例えば人権・非行・防犯など入ってくると、特に今年は10連休があつてかなり苦しい状況で、また講座が増えると学校現場としては非常に苦しい。可能であれば抱き合わせで1コマでやってもらえると大変助かります。

一瀬課長： 私も4月から来て保健師とも話をしていたのですが、この間の健康福祉審議会で奥村先生の方から中学生の頃からの指導が大事だと意見があつて、小学校も忙しいし、中学校もこころの教室をやっていますので、ある程度まとめられるものはまとめた中で、校長先生はじめ教頭先生・養護教諭などそういった方と相談してまとめられるものは一括で。また1回でいいのか、1回目は皆さんに教えて、2回目はどんな結果やったかと、そっちの方がおもしろいとか、おもしろいという失礼かもしれないんですけど1回きりではなくてちゃんと生活指導はどうだったとか甘いものは食べなくなったとか、どうせやるんでしたらそっちの方が。前半・後半で1回ずつくらいいろんなことをやればいいのかなあと。

高田委員： また保健の授業もやっているんですが、1年生であれば体のづくりだとか、食生活に関することは3年に入ってからとか、学年での取り組みとうまくマッチできればより効果はあるかと思います。そのとこ

ろは養護教諭や保健体育の先生が入って、より効果的な取り組みを相談しながら進めていただければいいかなあとと思います。

奥村会長 健康福祉部と教育委員会と学校の現場の先生方と集まってどういうやり方がいいのか、効率的なやり方はないかということを考えていかなければと。別箇にしていたのではなかなかいい方法がとれない。

小浦委員： 肥満に関することなんですけども、予防教育を考えていただいているのもありがたいなあと思うんですけども、実際に私は小学校にいますけれどももう肥満になっている子がいます、そういう子へのアプローチは家庭の中に入らないとできないケースがいっぱいあって本当に難しいと思っているんですけども、予防ではなくて実際に肥満傾向、中等度肥満の子であるとか、そういう子たちに向けての生活を変えられるようなものが行政できればいいと考えているんですけども。学校現場ではそれなりにしているんですけども、アプローチが難しいところで、もう肥満になってしまっている子に何かないかなあと。すみません、お願いなんですけれども。

松本補佐： 学校の栄養士さんは？

小浦委員： 栄養教諭ですね。

松本補佐： その方々は？

小浦委員： うちの学校には栄養教諭はいなくて、巡回指導という形で月1回来ていただいている、その時には食育指導という形でそれぞれの教室に入ってお話しして下さって、今の時期は夏休み前ということでおやつ摂り方だとかを指導して下さっているんですけども。

松本委員： 個別訪問や相談とかということのか？

小浦委員： 個別は難しく、夏休み前に成長曲線を見て栄養教諭の先生と養護教諭で中等度以上の肥満の子については少しお伺いしてお話を保護者の方にしていこうという予定なんですけれども、全部の方にはとても難しいので、学校によつての課題はいろいろあると思うんですけども、行政の方で何か少しありましたら。

高田委員： 今のに付け加えて、保護者を巻き込むというのでしたら小学校の方がいいかなと。うちの生徒にもいます。保護者に連絡を取ったら嫌がってすぐ電話を切るというケース。病院に行つてほしいレベルなのに保護者が協力してくれないのでうちの養護教諭も悩んでいる。声はかけてるんです。「朝何食べてきてるん？」って聞いたら「パン」っていう。「何枚？」って聞いたら「1枚」「他は？」「食べてない」っていう子だったり、そこにはひっかかかっていない子ですが体の小さい子で、朝ごはん全く食べてこない、準備もしていない、連絡も取れないという子もいます。中学校だと保護者との距離も大きくなって

るので保護者を巻き込むのであれば小学校の方が合うかな。

奥村会長： 親御さんへのアプローチの方が難しい時代になってきたね。中学校くらいになると自分たちで自分たちの健康をまず知って、生徒たちでどこに問題があるか考えてもらうことができるはず。

小浦委員： うちの学校で保護者の方が、お子さんは結構気をつけているのにおじいちゃんおばあちゃんが孫かわいくて知らないうちに肉と野菜を交換していたとか、おうちの方はぜひおばあちゃんにもわかるようなパンフレットがあると嬉しいなと話していました。

奥村会長： そのあたりは今後の課題として行政の方にも改善策を見出してほしい。いろんな関係者のご意見をいただいてね。

深見委員： 私の方も日頃親子の教室や子どもさんの食育活動をさせていただいているんですけども、関心のある方は教室にも出てきていただいおやつの食べ方だとか見本を作って、例えばこのジュースだったらこのくらいの砂糖が入っているんですよとか、暑くなったらアイスを食べる機会が多くなるのでアイスにもこのくらいの砂糖が入っているんですよと注意を促すような目で見えて驚いていただけるようなものを展示しながら教室をやっているんですけども、先ほどおっしゃったように親の方はお仕事に行っていて子守りしているのは私くらいのおじいちゃんおばあちゃんなので、おやつの与え方が甘いのかなと思ったり、お腹空いたと言われたら「インスタントラーメンでも食べるけ？」という方もおいでるかなと思うんですけども、教室の方でおやつの与え方も袋ごとではなくて小分けにさせていただけるように話しているんです。全員が全員できるかといえば難しいかもしれませんが草の根運動かもしれませんが活動をやっているところです。

奥村会長： おもてなし文化というか、誰か来たら何か出さないか…という意識が強いもんで、常にお菓子やおもてなしするものが置いてある。できるだけ子どもも食べ物は買わないように指導しているんですけどなかなか難しいですね。できるところから少しずつお話していくのは大事ですね。

他になれば次に進みます。

エ 健康づくりのための環境整備について

オ その他

奥村会長： 事務局より説明をお願いします。

高瀬補佐： ～説明（資料P16～18）

奥村会長： ただいまの3つのご説明に何かご質問はありますか。

喫煙対策については遅きに失した感じですけども。ちょっと甘いで

すね。喫煙対策も風しんもオリンピックに絡んで急に話が来て、風しんについては今年に2月に国から通知が来て準備が大変だったかと思います。受けてもらえてる？

松本補佐： 今のところ医療機関やご本人さんから大きな相談もなく進んでいます。

奥村会長： 結構抗体持ってる人多い？

松本補佐： まだ結果が返ってきていないのでわからないんですけど、先生のところはもう来ていらっしゃる。

奥村会長： 検査しても1人くらいだね。検査を受けた人の20%くらい。抗体持ってる人の方が多い。身の周りに対象となる人がおられましたら勧めてください。

板谷委員： 他の町では働いている方が対象者なので、検査とその後また接種と2回も受けれんしいわーと言われるという話があって、事業所・学校とか先生方も職員の方も本当に忙しいんですけども、その施設での風しんの予防ということにもなりますので、ぜひ一言かけていただくとそういう方も受けていただけるのかなと話を聞いて思いましたので、よろしくお願いします。

奥村会長： 企業に向けてとかは行政の方では何か？

松本補佐： 企業に対しては特にないんですけども、先生方の健診や大きな事業所の健診を予防医学協会が中心となってされておりまして、その担当者の方は対象者に対して呼びかけをしてくださるという話で、事業者健診の時にできるということを伝えていただくというお願いはしています。

奥村会長： 定期健診の時に必ず、それを利用して抗体検査をする。それは予防医学協会を利用しているところでないとなかなかうまくいかない。

松本補佐： 一覧の病院もクーポンと一緒にしておりまして、先ほどの事業者健診でもできますし、あと病院の方に行っても抗体検査ができます。

深見委員： 特定健診の時に一緒にお願ひしますと言えばできるの？

松本補佐： 特定健診と同時だったらできる。

奥村会長： 他に何かありますか？そしたら次にいきたいと思ひます。

(5) 令和元年度 七尾市健康福祉審議会・保健医療分科会日程 (案)

奥村会長： 事務局から説明願ひます。

一瀬課長： ～説明 (資料P 16～18)

奥村会長： 最後に全般を通じて何か追加等ございませんか？聞き忘れたことな

どあれば質問していただければ。

それでは、予定をしておりました議件が全て終わりました。皆様のご協力有難うございました。

5. 閉会挨拶

一瀬課長： 奥村会長、ありがとうございました。ここで閉会のご挨拶を「先川副会長」にお願いしたいと思います。

先川副会長： 皆様お疲れ様です。一応全般をお聞きしましたら、市としても新たな取り組みを始められたりして、ちょっとお聞きしてましたら資料に関しては単なる数字だけの発表みたいな感じでちょっといろいろな問題が。会長が言われましたけど医療機関なりいろんなところとのデータも考慮し、できないところはそれなりの理由を書いていただけるとこの審議においてもよりスムーズにいくのではないかと思います。また今後とも活発に意見交換できればと思います。今日はお疲れさまでした。

一瀬課長： 先川副会長、ありがとうございました。

本日はお忙しい中、七尾市健康増進計画【第二次】の進捗に関してご意見をいただきありがとうございました。次回は2月第2回目を予定しております。またその時にはよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。